

# P2 Plugin Ex v5.0.0 操作ガイド

<b>1. はじめに</b> .....	<b>2</b>
1.1. P2 Plug-In Ex 概要.....	2
1.2. 追加機能(有償)について.....	2
1.3. システム要件.....	3
<b>2. P2 Manager</b> .....	<b>4</b>
2.1. インストール方法.....	4
2.2. 起動方法.....	4
2.3. 画面説明.....	5
2.4. アクティベーション方法.....	6
2.5. ディアクティベーション方法.....	6
2.6. トライアルについて.....	6
<b>3. Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS001G (AVC-Proxy Re-Link)</b> .....	<b>7</b>
3.1. 概要.....	7
3.2. 対応フォーマット.....	7
3.3. 操作方法 1 (CONTENTSホルダが異なる場合).....	7
3.4. 操作方法 2 (CONTENTSホルダが共通の場合).....	12
<b>4 Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS002G (AVC-Intra Export)</b> .....	<b>15</b>
4.1 概要.....	15
4.2 書き出しフォーマット.....	15
4.3 操作方法.....	15
<b>5 Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS003G (AVC-LongG Export)</b> .....	<b>19</b>
5.1 概要.....	19
5.2 書き出しフォーマット.....	19
5.3 操作方法.....	19
<b>6 Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS004G (AVC-LongG Import)</b> .....	<b>20</b>
6.1 概要.....	20
6.2 読み込みフォーマット.....	20
6.3 操作方法.....	20
<b>7 既知の不具合について</b> .....	<b>21</b>

## 商標および登録商標について

Avidは米国 Avid Technology, Inc.の登録商標です。Media Composerは同社の商標です。  
Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。  
Mac、Macintosh、OS Xは、米国およびほかの国々で登録された Apple Inc.の商標です。

# 1. はじめに

本書は P2 Plug-In Ex の ver.5.0.0 専用の操作ガイドです。  
本バージョンは Proxy 再生に内蔵デコーダを使用し、Avid Quicktime Plugin は使いません。  
macOS Catalina 用 ver.4.9.0.5 でのリンク制限事項を解消しました。  
OS および Media Composer とのバージョン互換性は下記 URL を参照ください。  
[https://panasonic.biz/cns/sav/p2/avidnle\\_ps/index.html](https://panasonic.biz/cns/sav/p2/avidnle_ps/index.html)

本書では各用語を以下の様に記載しております。

PC	: パーソナルコンピュータ
HDD	: ハードディスク
OS	: オペレーションシステム
MC	: Avid Media Composer
P2 Plug-In Ex	: Extended Panasonic AMA Plug-In
P2 Manager	: Panasonic P2 Plug-in Manager
P2 Cam	: Panasonic P2 メモリーカードレコーダー
高画質データ	: P2Cam で収録された高画質の P2 クリップ
Proxy データ	: P2Cam で収録時高画質データと同時に記録されたデータ 収録方法はご使用の P2 機器説明書をご確認ください。
P2 HD	: P2 形式のハイディフィニション素材 (圧縮: AVC-Intra, DVCPRO HD)
AMA	: Avid Media Access

本書は Windows/Macintosh 共用となっております。特に注釈がない限り、記載内容は Windows と Macintosh で共通です。本書のイラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

## 1.1. P2 Plug-In Ex 概要

P2 Plug-In Ex は Avid Media Composer v6.5.4 以降に対応し、数年にわたり機能を追加してきました。P2 クリップの取り込みやリンク機能は AVC-LongG を除いて無償でお使いいただけます。機能の互換性表は以下の URL を参照ください。  
[https://panasonic.biz/cns/sav/p2/avidnle\\_ps/index.html](https://panasonic.biz/cns/sav/p2/avidnle_ps/index.html)

## 1.2. 追加機能(有償)について

初期状態では無効になっており、それぞれアクティベーションを行うことにより使用可能になります。また、各追加機能ごとに30日間のトライアル期間を設けており、トライアル開始から30日間フル機能でご利用いただけます。引き続きご利用になる場合は、キーコードをご購入頂き、アクティベーションを行ってください。一つのキーコードで2台の PC で使用可能です。

追加機能のアクティベーション/ディアクティベーションや、バージョン管理等は、P2 Plug-In Ex インストール時に同時にインストールされる、P2 Manager により行います。(詳細については、2 章 P2 Manager をご覧ください)

現在の追加機能は以下になります。詳細は各機能説明でご確認ください。

### AJ-PS001 ( AVC-Proxy Re-Link )

Proxy データの取り込みと、高画質データへリンクが可能になります。  
HD 素材から 4K 素材のリンクが可能になります。(MC8.4 以降)

### AJ-PS002 ( AVC-Intra Export )

AVC-Intra で P2 書き出しが可能になります。タイムコードの出力、HDD の任意の場所への書き出しもサポートします。DVCPRO ファミリーについても同様の機能をお使いいただけます。

AVC-Intra2K422, 4K422 素材の書き出しが追加されました。(MC8.4 以降)

### AJ-PS003 (AVC-LongG Export)

AVC-LongG で P2 書き出しが可能になります。タイムコードの出力、HDD の任意の場所への書き出しもサポートします。

### AJ-PS004 (AVC-LongG Import)

AVC-LongG の Import が可能になります。メタデータの読み込みも対応しています。

### 1.3. システム要件

必要な OS および MC バージョンは以下のページをご参照ください。

[https://panasonic.biz/cns/sav/p2/avidnle\\_ps/index.html](https://panasonic.biz/cns/sav/p2/avidnle_ps/index.html)

その他環境については Avid 動作環境仕様に準じます。

## 2. P2 Manager

本ソフトウェアは以下の機能があります。

- ・ 各 P2 Plug-in Ex のアクティベーション／ディアクティベーション
- ・ ユーザ情報の登録
- ・ プラグインの状態表示

### 2.1. インストール方法

下記ウェブサイトより最新の P2 Plug-In Ex インストーラをダウンロードしてインストールしてください。  
P2 Plug-In Ex と P2 Manager が同時にインストールされます。

日本語

[https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/ama\\_j.htm](https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/ama_j.htm)

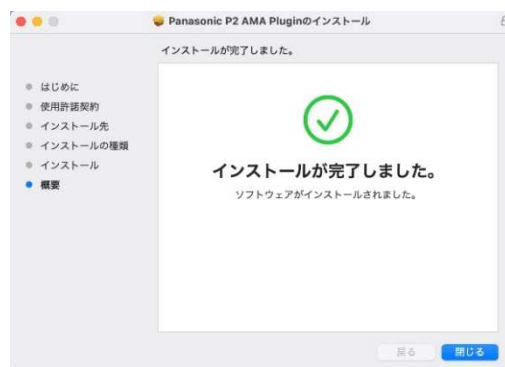
【Macintosh】

zipファイルをダウンロードすると、ダウンロードフォルダーに“.pkg”ファイルが置かれます。

“control”キーを押しながら “.pkg” をクリックしてください。  
右の画面が表示された場合は、“開く” を押してください。



インストールするには契約書の同意が必要です。  
インストールが正常に完了すると、右の画面が表示されます。



【Windows】 インストール後、自動的にデスクトップ上に右のアイコンと、  
Program Files(x86)>Panasonic P2>P2PlugIns に、  
P2 Manager のショートカットが作成されます。



【Macintosh】 アプリケーション->P2PlugIns 内にインストールされます。アイコンは作成されません。

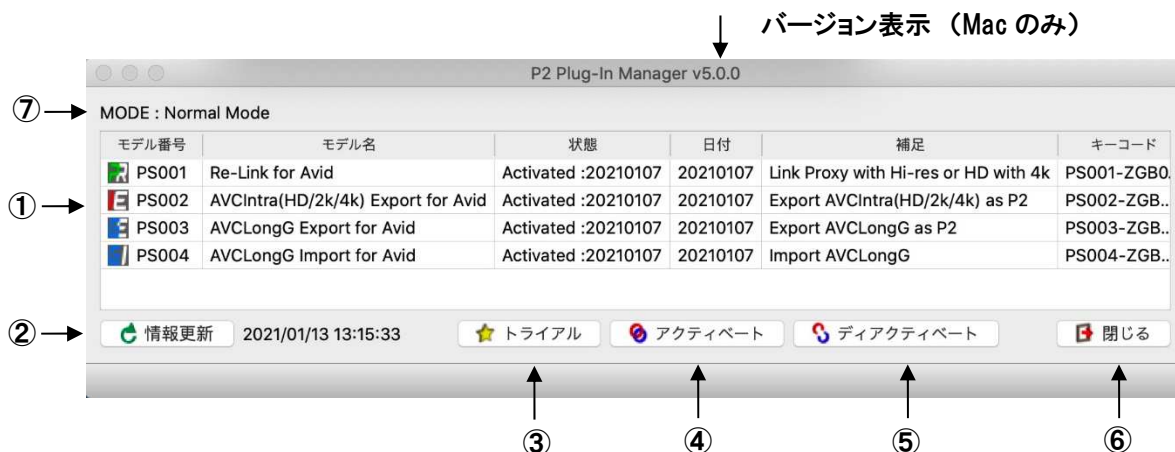
### 2.2. 起動方法

【Windows】 デスクトップ上の右記のアイコンをダブルクリックするか、  
Program Files(x86)>Panasonic P2>P2PlugIns から起動してください。

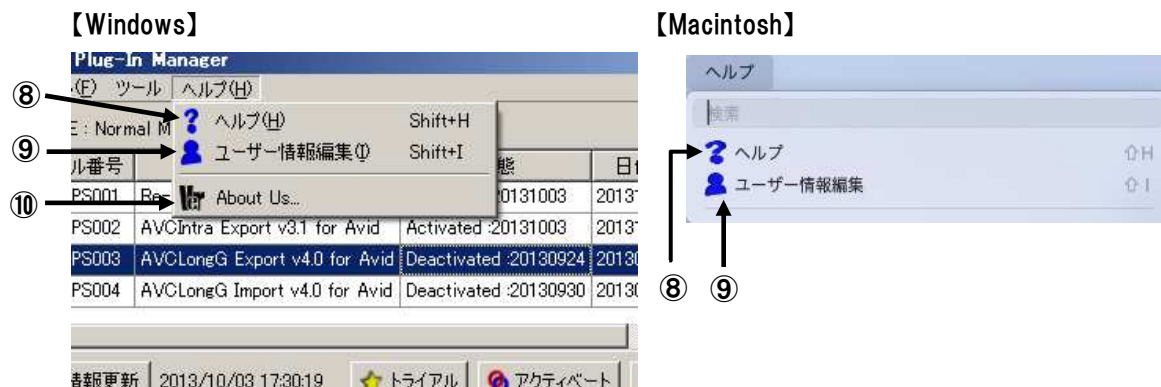


【Macintosh】 アプリケーション->P2PlugIns 内の P2PluginManager を起動してください。

## 2.3. 画面説明



- ① List Box :各プラグインの状態が表示されます。
- ② 情報更新 :List Box は自動更新されますが、手動で更新する場合に使用します。横にアップデート時刻が表示されます。
- ③ トライアル :List Box 内でトライアルを開始したいプラグインを選択しボタンを押すことによりトライアルを開始します。期間は開始してから1か月になります。(2.6 参照願います)
- ④ アクティベート :アクティベーションを行います。(2.4 参照願います)
- ⑤ ディアクティベート :ディアクティベーションを行います。(2.5 参照願います)
- ⑥ 閉じる :何もせず画面を終了します。
- ⑦ Mode 表示 :現在のモードが表示されます。現在は Normal Mode のみです。



- ⑧ ヘルプ :ヘルプファイルの格納フォルダーが開きます。
- ⑨ ユーザー情報編集 :ユーザ情報登録/確認用の画面を表示します。



- ⑩ About Us :バージョン情報ダイアログが開きます。(Windows のみ)

## 2.4. アクティベーション方法

1. パナソニックよりキーコードをご購入ください。
2. PC をインターネットへ接続します。(MC を含むすべてのプログラムを終了します)
3. アクティベートボタンを押し、アクティベーションキー入力ウィンドウにキーコードを入力後、開始ボタンをクリックします。



4. アクティベーションが成功すると、ListBox の該当プラグインの状態表示が変わり、ご購入されたプラグインが使用可能になります。(もし状態が変わらない場合は、インターネットの接続とエラーメッセージを確認してください)

## 2.5. ディアクティベーション方法

1. PCをインターネットに接続します。
2. ListBox よりディアクティベーションしたいプラグインを選択し、ディアクティベーションボタンをクリックします。
3. ディアクティベーションが終了すると、リストボックスの該当プラグインの状態が変わります。

## 2.6. トライアルについて

ListBox 内の試用したい機能を選択後、トライアルボタンをクリックしてください。その機能がフル機能で試用可能になります。

トライアル期間は連続した 30 日間です。(トライアル開始を行った日を含めた 30 日間)

1PCにつき、各機能一回のみ試用することができます。

### < ノート > 【Windows】

- ・ P2 Plug-In Manager にて通信ができない場合があります。  
その場合、Windows の設定画面で、ネットワークとインターネットを選択し、プロキシ設定で、“設定を自動的に検出する”をオフにしてください。



# 3. Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS001G (AVC-Proxy Re-Link)

## 3.1. 概要

P2 Plug-In Ex インストール後、Re-Link 機能を有効にすることにより、ご使用いただけます。(インストールと有効方法については、2. P2 Manager をご覧ください)  
編集中に、高画質データと Proxy データを相互に入れ替えることができます。  
Proxy データを使用して編集を行なった後、対応する高画質データへ再リンクすることが可能となります。  
V4.4 より Varicam35 の Main 記録(4K/UHD 等)データとそれに対応する Sub 記録(2K/HD 等)データの相互入れ替えも対応いたしました。

## 3.2. 対応フォーマット

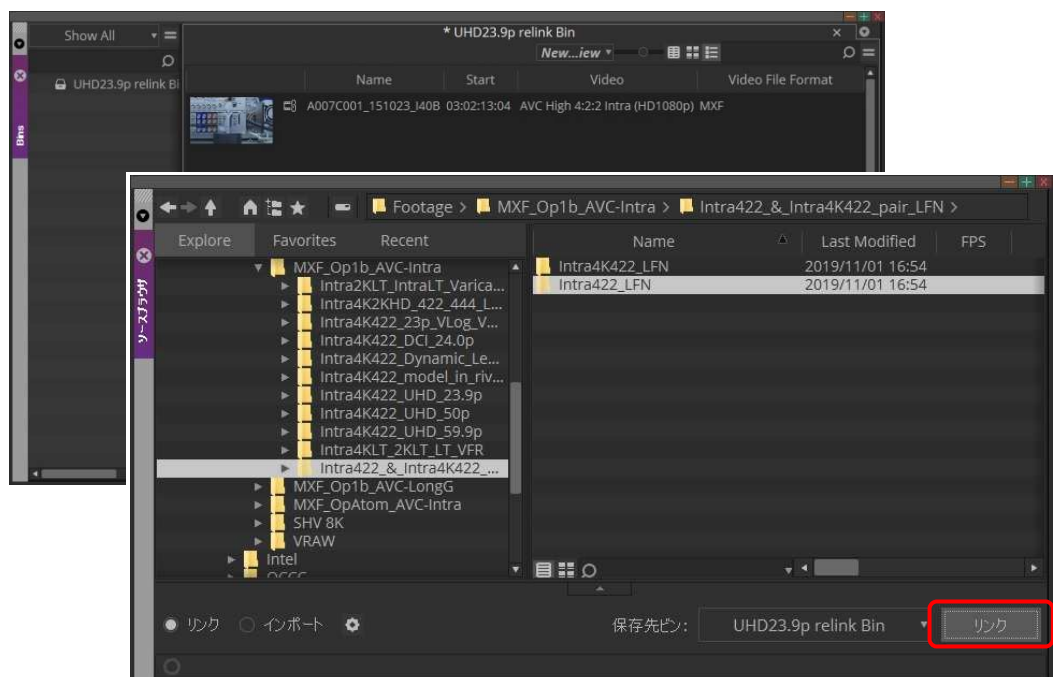
P2 Cam にて収録された AVC-LongG25/50 を含む P2 HD データと、それに対応する Proxy G6 を含む Proxy データ。“MP4”の Proxy は対応していません。“MOV”の Proxy をご使用ください。  
VariCam35 にて収録された Main 記録(4K/UHD 等)データとそれに対応する Sub 記録(2K/HD 等)データ

## 3.3. 操作方法 1 (CONTENTSホルダが異なる場合)

Main 記録(4K/UHD 等)データとそれに対応する Sub 記録(2K/HD 等)データのリンク方法は、リリンク機能を使用します。例として Sub 記録データ(HD)で編集したシーケンスから Main 記録データ(UHD)にリリンクして Main 記録データのシーケンスを作成する手順を説明します。

### 3.3.1. Sub 記録データの読み込み

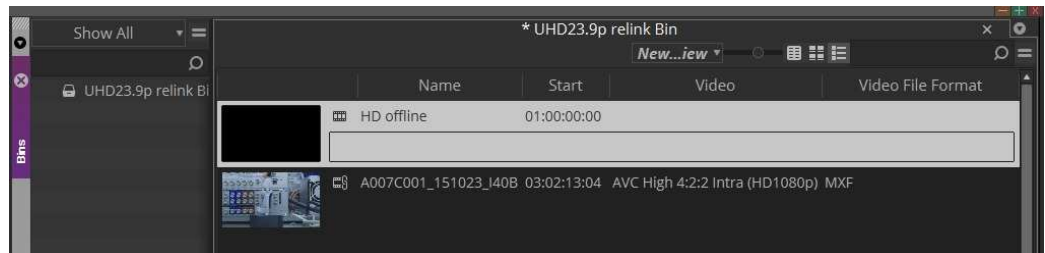
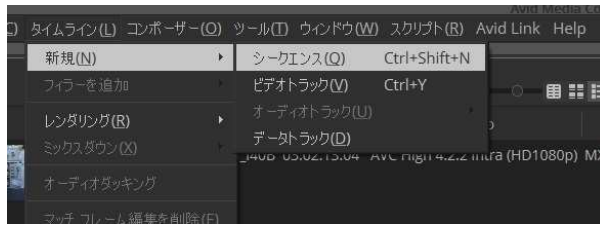
1. プロジェクトを UHD に設定します。
2. 「ファイル」>「入力」>「ソースブラウザ」を選択し、sub 記録(HD)素材の P2 ボリュームを指定し、「リンク」を押すと、Bin に読み込まれます。



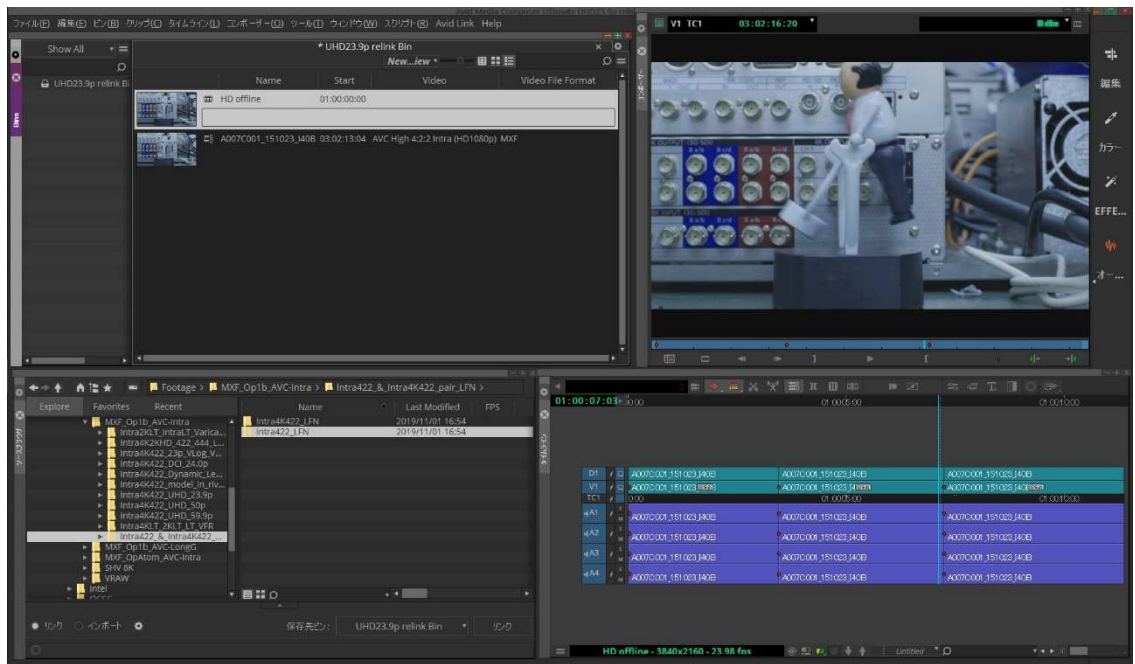
<ノート> エラーを避けるため、CONTENTS フォルダの上に CONTENTS フォルダを作成しないでください。

### 3.3.2. Sub 記録データによる編集

1. 「タイムライン」>「新規」>「シーケンス」 を選択し、シーケンス・クリップを作成します。



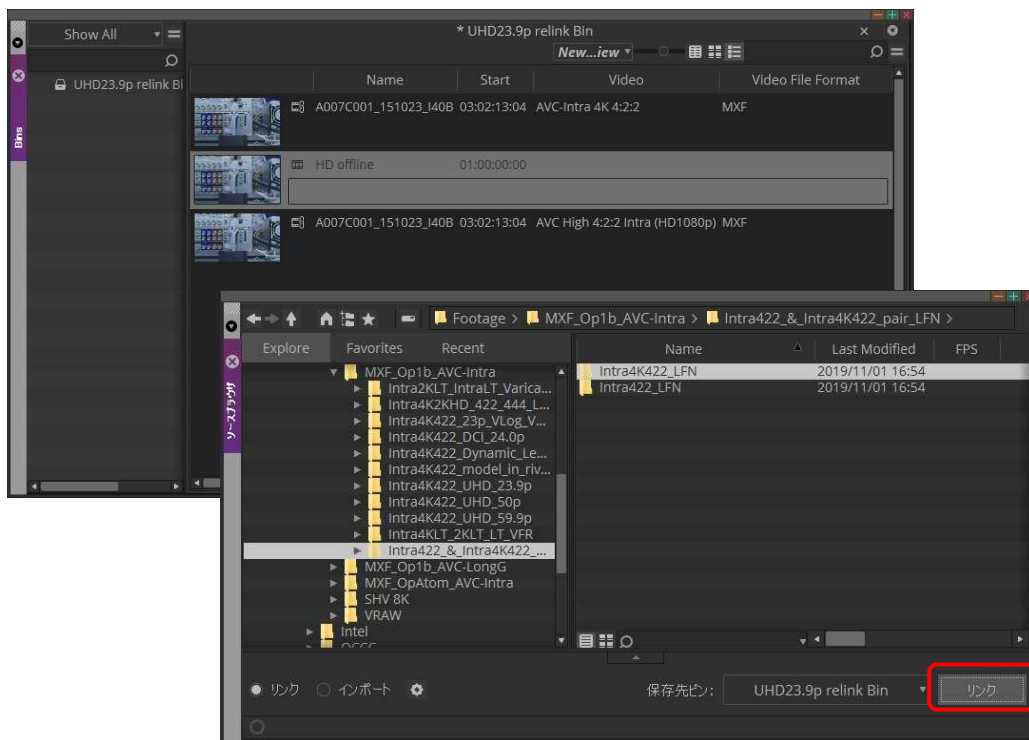
2. Sub 記録データを使って編集シーケンスを完成させます。





### 3.3.3. Main 記録データの読み込み

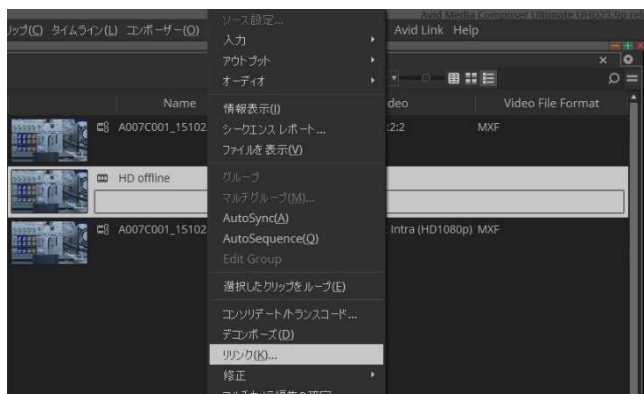
「ファイル」>「入力」>「ソースブラウザ」を選択し、Main 記録データ(UHD)の P2 ボリュームを指定し、「リンク」を押します。



<ノート> エラーを避けるため、CONTENS フォルダの上に CONTENS フォルダを作成しないでください。

### 3.3.4. Sub 記録データのシーケンスから Main 記録データへリンク

Sub 記録シーケンスを右クリックし「リリンク」を選択します。



リリンクダイアログで、リンクの設定を以下の通りにします。

ソース名が“Tape Name or Source File ID”になっていることを確認ください。

CONTENTSホルダが異なるProxyから高画質データへリリンクする場合は、“拡張子を無視”にチェックを入れてください。

ビデオパラメータのリンク先がUHDになっており、リンク方法が最高画質になっているか確認し、OKを押します。

リリンク

選択したアイテムのリンク先:

- メディアドライブ:  全ての使用可能なドライブ ▼
- メディアデータベースをロードする
- 選択したマスタークリップをリリンク  
ヒント: マスタークリップをオンラインにするには、最初にメディアデータを
- このプロジェクトのメディアにのみリリンク
- 開いているすべてのピン内の選択中のアイテム
- オフラインアイテムにリリンクする

リンク基準:

オリジナルタイムコード: Start ▼

ソース名: Tape Name or Source File ID ▼

拡張子を無視

最後に見つかった文字以降の文字は: [ ]

ターゲット (オリジナルと異なる場合) タイムコード: Start ▼

ソース名: Tape Name or Source File ID ▼

拡張子を無視

最後に見つかった文字以降の文字: [ ]

ソース名を比較するとき、大文字と小文字を区別してマッチ

ビデオパラメータ

リンク先: 現在のプロジェクトのビデオフォーマットのみ(UHD 23.976P) ▼

リンク方法: 最高品質 ▼

リンクの画質: 以上 ▼

フォーマット: UHD 23.976P ▼ 解像度: DNxHR LB ▼

一致するものがない時: 既存のメディアを使用 ▼

リリンクするトラック

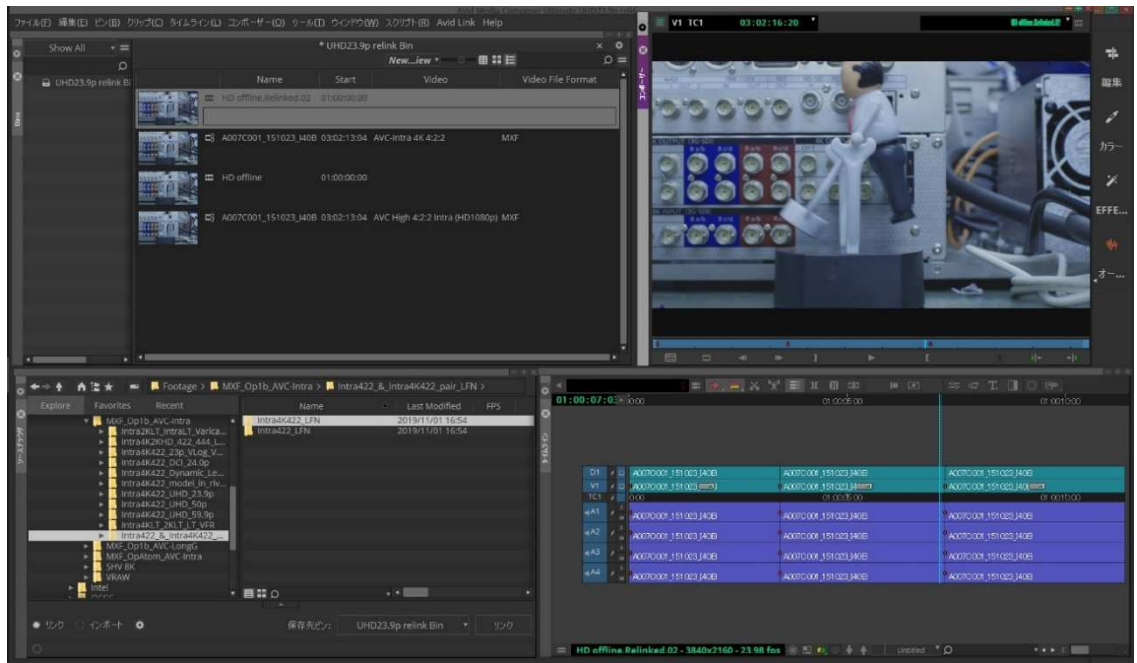
ビデオ  オーディオ  データ

新規シークエンス作成 (1個のシークエンスが選択されています)

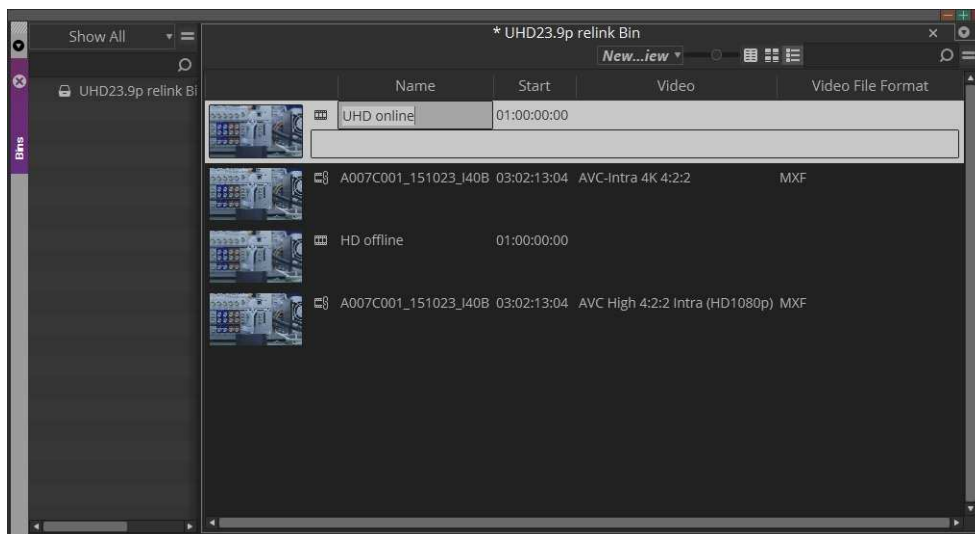
Allow relink across rates

OK キャンセル

Main 記録データによるシーケンスが新たに作成され Bin に表示されます。



必要に応じてシーケンスの名前を変更します。

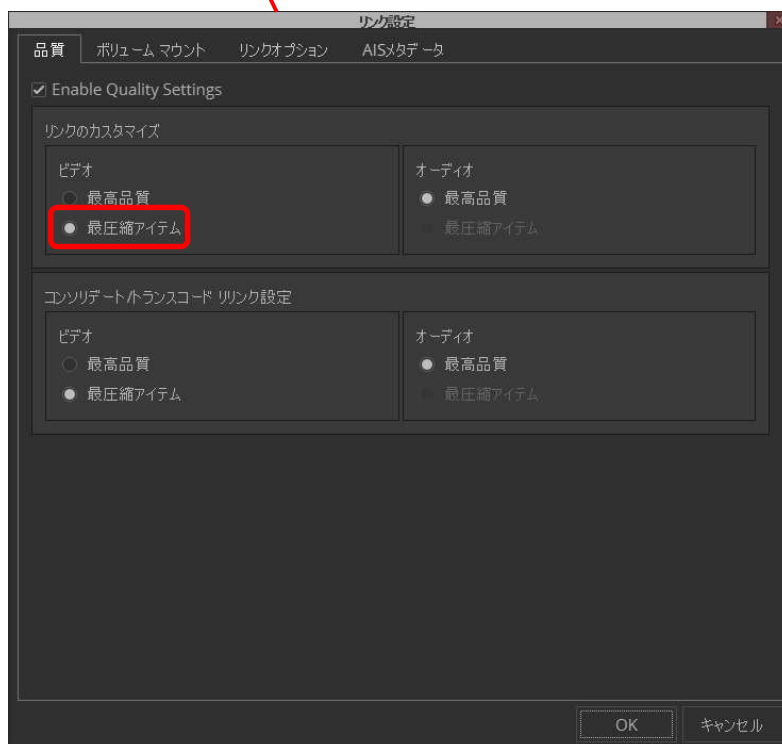
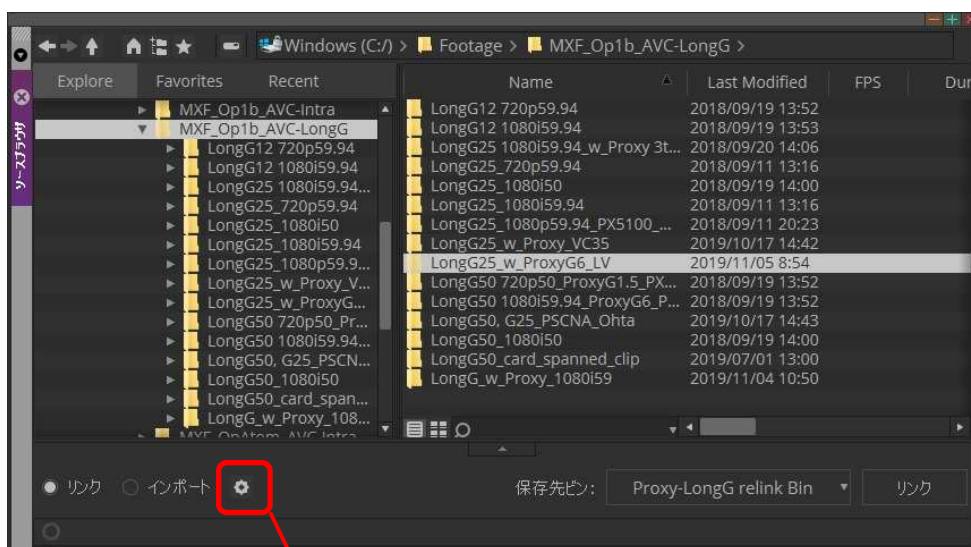


## 3.4 操作方法 2 (CONTENSホルダが共通の場合)

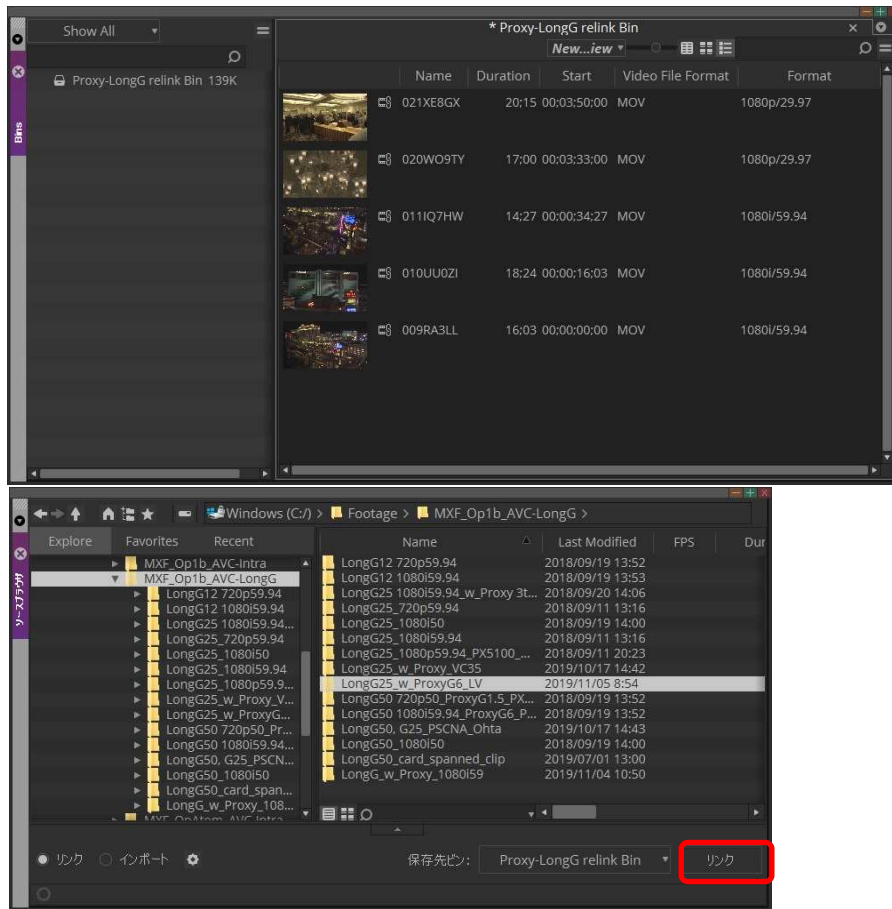
AVC-LongG や AVC-Intra50/100 の場合など、Proxy データと高画質データが共通の CONTENTS ホルダに存在する場合は、ソースブラウザでリリンクを行います。例として Proxy でシーケンスを作成後、AVC-LongG 素材にリリンクする手順を説明します。

### 3.4.1 Proxy データの読み込み

1. プロジェクトを高画質データと同じビデオフォーマットに設定します。
2. 「ファイル」>「入力」>「ソースブラウザ」を選択し、下図の通りソースブラウザの設定アイコンを押し、リンク設定画面でビデオを「最圧縮アイテム」に OK を押します。

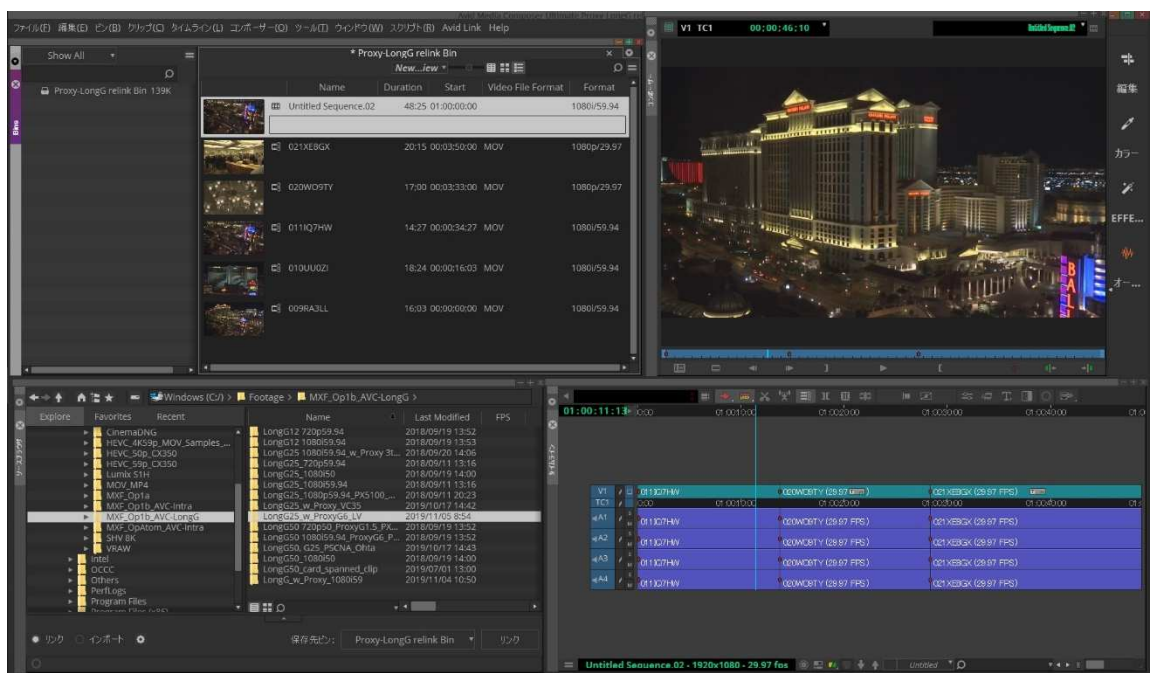


2. 読み込みたい P2 ボリュームを指定し「リンク」を押すと、Proxy 素材が Bin に読み込まれます。



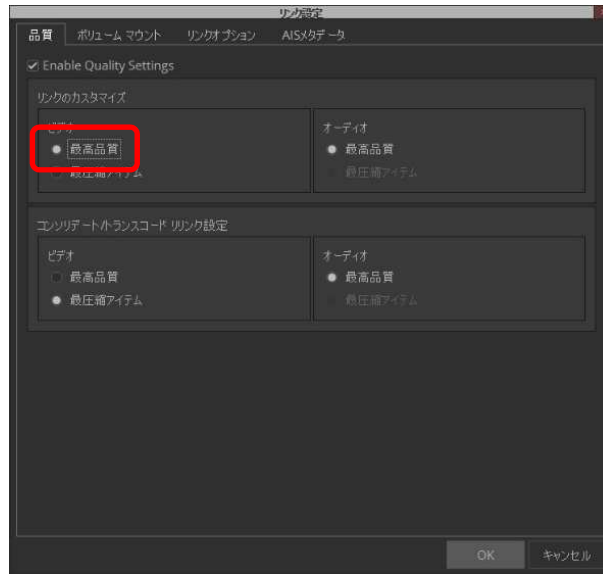
### 3.4.2 Proxy 素材によるシーケンス作成

Proxy 素材を使ってシーケンスを作成します。

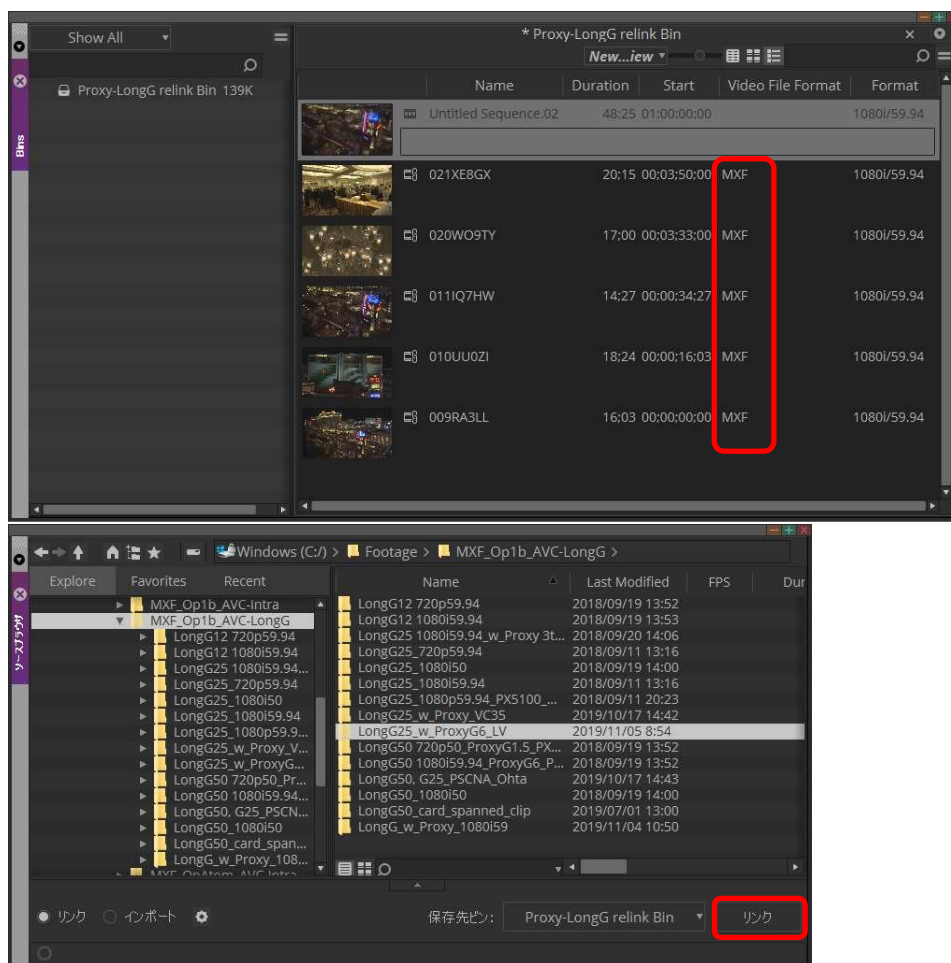


### 3.4.3 高画質データにリンク

ソースブラウザのリンク設定を再度開き、今度はビデオを「最高画質」に設定します。



ソースブラウザの「リンク」を押すと、BIN の素材が全て高画質に変わり、Video File Format の欄が MOV から MXF になります。シーケンスは高画質データに入れ替わります。



<ノート> 高画質データに入れ替わったシーケンスに対し 3.3.4 に記載したメニュー選択によるリンクを実行しないでください。「予期しないエラー」を起こす場合があります。

# 4 Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS002G (AVC-Intra Export)

## 4.1 概要

P2 Plug-In Ex インストール後、AVC-Intra Export 機能を有効にすることにより、ご使用いただけます。  
(インストールと有効方法については、2. P2 Manager をご覧ください)

AVID 上の編集素材を P2 フォーマットで書き出しを行うことができます。

また、バッチ処理、P2 カード以外に、HDD 内の任意場所への P2 形式での素材書き出し、スパンドクリップ(複数 P2 カード)にも対応しています。

## 4.2 書き出しフォーマット

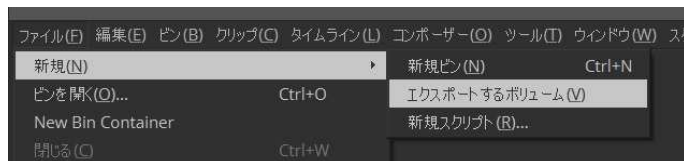
Panasonic P2 形式の AVC-Intra 50/100/200、(但し720 24pN/30pN のスパンドクリップは未対応)

Panasonic P2 形式の DV,DVCPRO, DVCPR050, DVCPR0HD (但し720pは未対応)

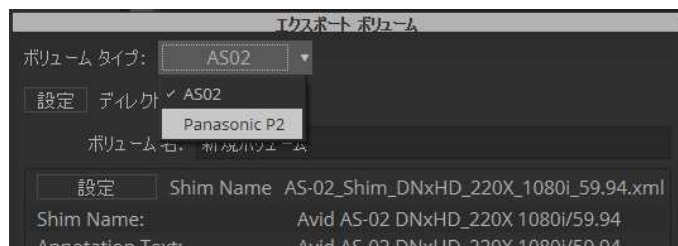
Panasonic P2 形式の AVC-Intra 422, 2K422, 4K422

## 4.3 操作方法

1. MC を起動します。
2. 「ファイル」>「新規」>「エクスポートするボリューム」を選択します。

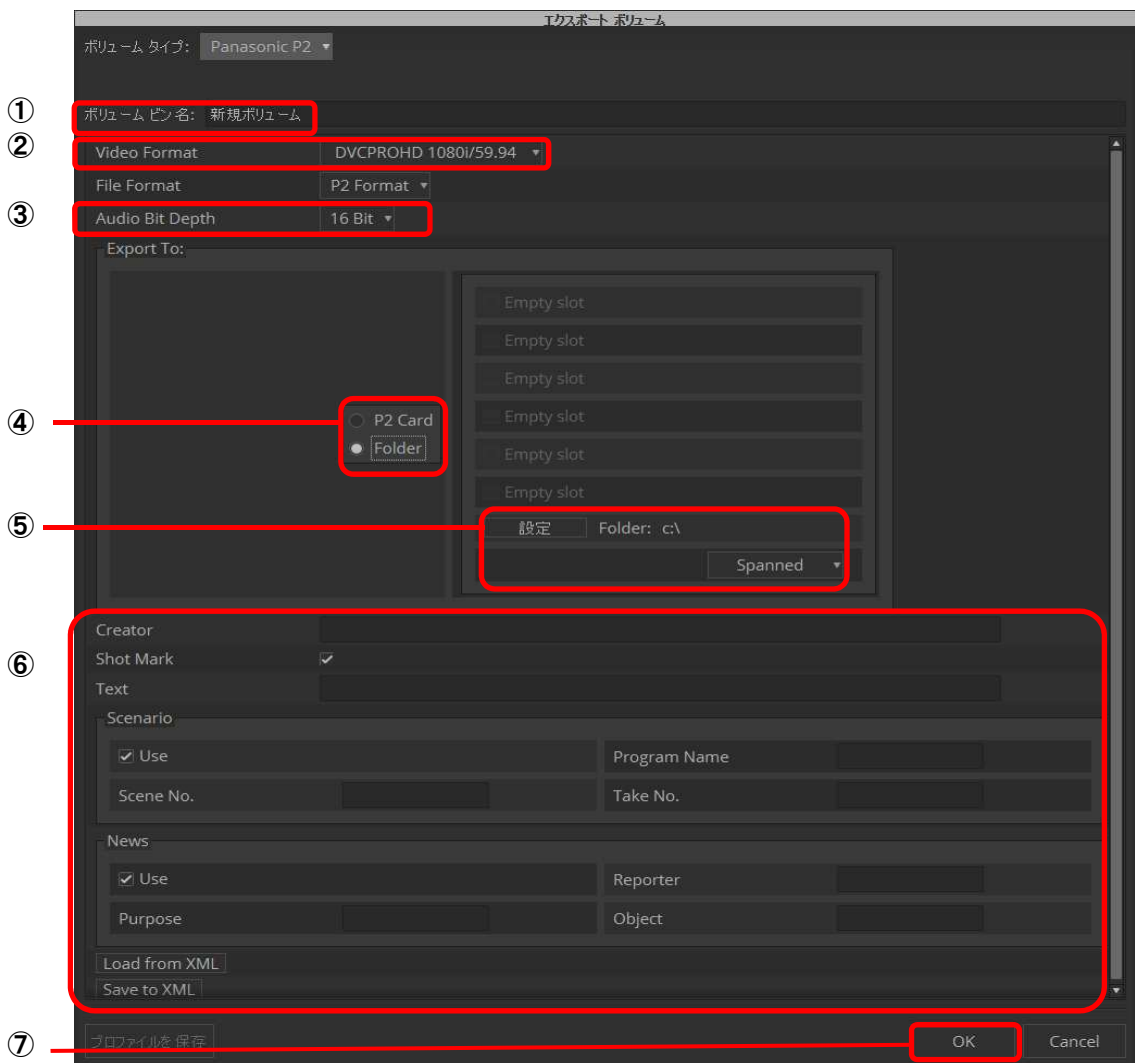


3. エクスポートボリュームのボリュームタイプを PanasonicP2 にします。



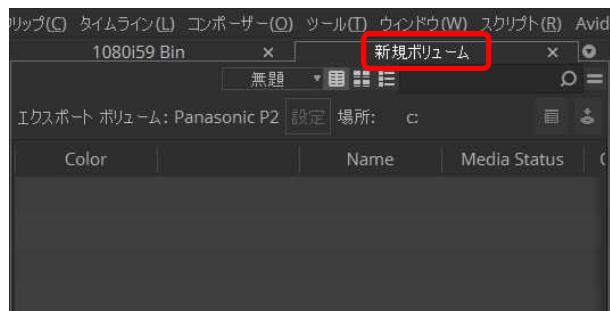
4. エクスポートボリュームダイアログにて各種設定を行います。

- ① ボリュームピン名を指定します。（既に使っているピン名は指定できません）
- ② 映像の圧縮フォーマットを選択します。
- ③ Audio Bit Depth を選択します。
- ④ P2 カードかそれ以外の記録メディアの Folder かを選択します。
- ⑤ Folder の場合は設定ボタンを押し、Folder を指定します。  
クリップを4GB 単位で分割したい場合は Spanned を、分割不要なら Non-Spanned を選択します。
- ⑥ 個々のメタデータを設定できます。  
Load from XML ボタンは、P2 Clip の XML や、予め保存した XML メタデータを指定し取り込みます。  
Save XML ボタンは、設定したメタデータを XML 形式で保存します。
- ⑦ すべての設定を行った後、OK ボタンを押します。

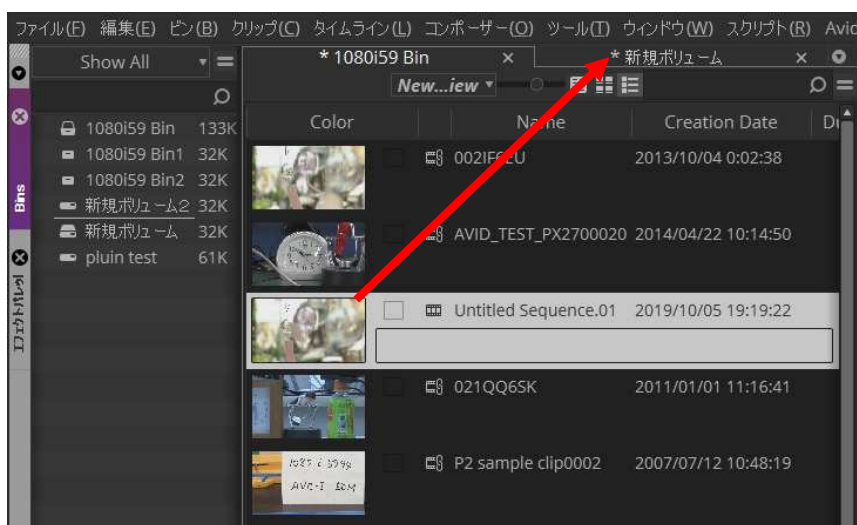




5. Bin に新たなタブが追加されれば、設定完了です。

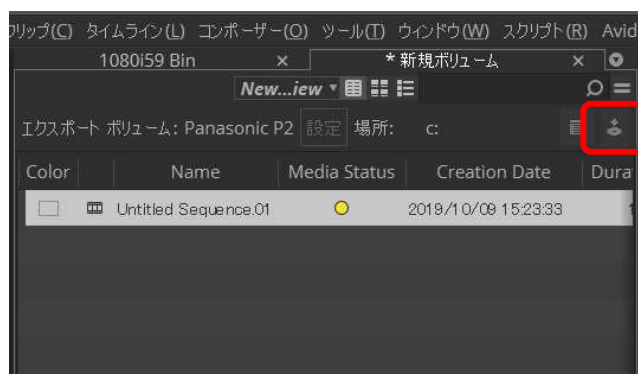


6. 編集したシーケンスファイルをエクスポートボリュームヘッドラッグ&ドロップします。

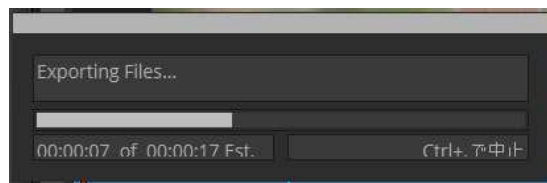


ドロップされた Sequence は、Media Status が黄色マークで登録されます。

7. Commit ボタンを押すと、書き出しが始まります。書き出し中は他の操作はできません。複数の Sequence の書き出しを順次行う場合は、各 Sequence を、リストに追加した後、Commit ボタンを押します。



8.. 書き出しが始まりますと、進捗バーが表示されます。ダイアログが閉じるまでお待ちください。

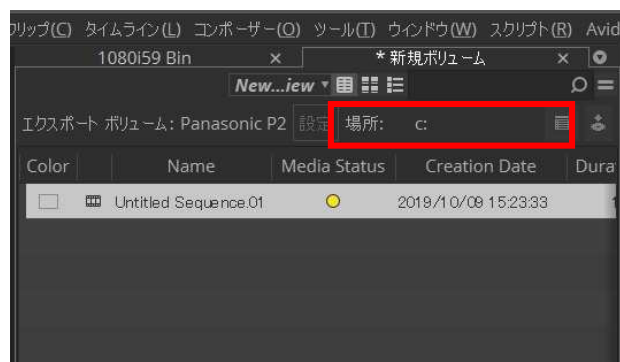


9. 書き出しが終了しますと Sequence は書き出し Volume から消え、書き出されたクリップが読み込まれ、表示されます。このとき Media Status は緑に変わります。



#### <ノート>

1. フレームレート等は MC のプロジェクト作成に準じており、指定可能なもののみが選択可能です。
2. 書き出し中にメディアを抜いた場合は正常に書き出しされません。完了までお待ちください。
3. 対応プロジェクトのラスターサイズは以下になります。  
4K-DCI:4096x2160, UHD:3840x2160, 2K:2048x1080, 1080:1920x1080, 720P:1280x720
4. プロジェクトで設定したビデオフォーマットと異なるクリップを使用する場合は、書き出しの前に、「クリップ」>「コンソリデイト/トランスコード」にてトランスコードし、フォーマットを一致させてください。
5. Windows のマウント方法の関係で、MC 起動後の P2 カードの挿入順番により、選択した P2 カードと実ロケーションが異なる場合があります。書き出し時は「場所」を確認してください



# 5 Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS003G (AVC-LongG Export)

## 5.1 概要

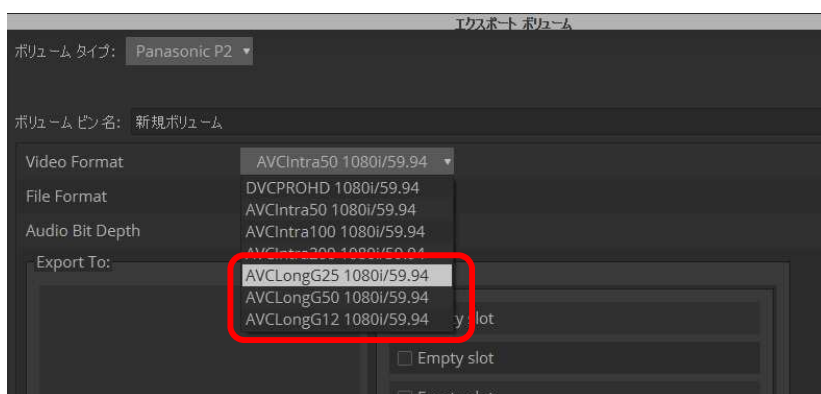
P2 Plug-In Ex インストール後、AVC-LongG Export 機能を有効にすることにより、ご使用いただけます。  
(インストールと有効方法については、2. P2 Manager をご覧ください)  
編集素材を P2 AVC-LongG 12/25/50 で書き出しを行うことができます。タイムコード、バッチ処理、P2 カード以外に、HDD 内の任意場所への P2 形式での素材書き出し、スパンドクリップ(複数 P2 カード)にも対応しています。

## 5.2 書き出しフォーマット

Panasonic P2 形式の AVC-LongG 12/25/50  
対応ビデオフォーマット: 1080/50i, 1080/59.94i, 720/50p, 720/59.94p,  
1080/23.98p, 1080/25p, 1080/29.97p, 1080/50p, 1080/59.94p

## 5.3 操作方法

Export Volume 設定にて AVC-LongG が選択可能になります。操作方法については“4.Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS002G (AVC-Intra Export)”をご覧ください。



### <ノート>

1. フレームレート等は MC のプロジェクト作成に準じており、指定可能なもののみが選択可能です。
2. 書き出し中にメディアを抜いたり、停止した場合は正常に書き出しされません。  
完了までお待ちください。
3. 対応プロジェクトのラスタサイズは以下になります。  
1080: 1920x1080, 720: 1280x720
4. MC のプロジェクトで設定したビデオフォーマットと異なるフォーマットのクリップを使用する場合は、Sequence 書き出しの前に、クリップ>コンソリデイト/トランスコード にてフォーマットを一致させてからご使用ください。

# 6 Extended Panasonic AMA Plug-In AJ-PS004G (AVC-LongG Import)

## 6.1 概要

P2 Plug-In Ex インストール後、AVC-LongG Import 機能を有効にすることにより、ご使用いただけます。  
(インストールと有効方法については、2. P2 Manager をご覧ください)

BIN に AVC-LongG 12/25/50 を読み込むことができますようになります。他の P2 ファイル同様に、タイムコードを含むメタデータも同時に読み込まれます。スパンドクリップ(複数 P2 カード)にも対応しています。

## 6.2 読み込みフォーマット

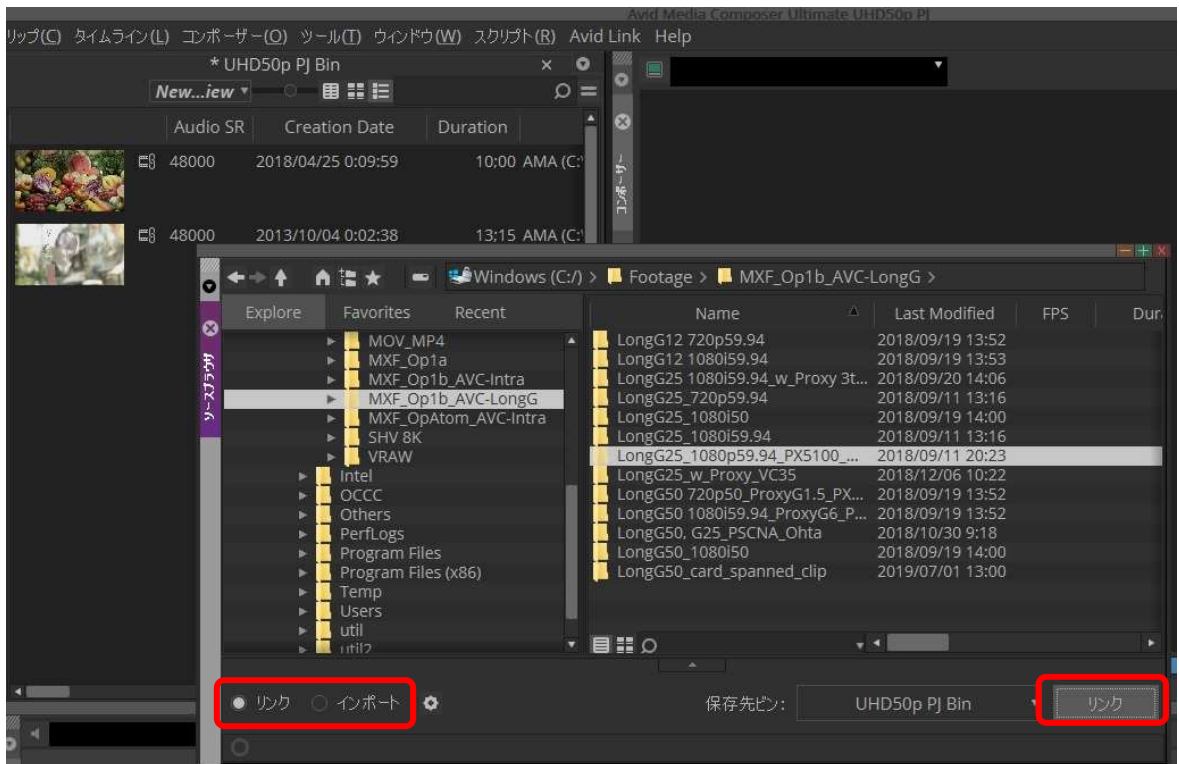
Panasonic P2 形式の AVC-LongG 12/25/50

対応映像フォーマット: 1080/50i, 1080/59.94i, 720/50p, 720/59.94p,  
1080/23.98p, 1080/25p, 1080/29.97p, 1080/50p, 1080/59.94p

## 6.3 操作方法

他の P2 フォーマットと同様に AVC-LongG も読み込むことができますようになります。

1. 「ファイル」>「入力」>「ソースブラウザ」 を選択し、ソースブラウザを開きます。
2. P2 ボリューム(CONTENTS フォルダの上位フォルダ)を選択し、リンク又はインポートを押すと CONTENTS フォルダ内のクリップが指定された保存先BINに表示されます。



<ノート> エラーを避けるため、CONTENTS フォルダの上に CONTENTS フォルダを作成しないでください。

## 7 既知の不具合について

本バージョンには過去のバージョン同様、以下の不具合が存在します。

- a) リンクを実行した時、Varicam35/LT で付加した 3D-LUT(“.vlt”)が存在する場合、自動的にその LUT 適用されますが、意図通りの色調になりません。  
⇒クリップ>ソースセッティングを選択し、Color Transformation の “Panasonic V-LUT”を削除下さい。
- b) 1080 50p/59.94p でかつ AVC-LongG12/25 の場合のみ Bin の Codec Format 表示が異なります。  
AVC-LongG12 ⇒LongGOP 25  
AVC-LongG25 ⇒LongGOP 50
- c) 720p など 1080 より低い解像度の素材の場合に Bin の Image Size 表示が 1920x1080 となります。
- d) 一度リンクした AVC-Intra50/100/200 クリップを Bin から削除し、MC を再度立ち上げ、同じクリップをリンクすると、クリップの終端数秒間が再生できなくなる場合があります。  
⇒ クリップを Bin から削除し、MC を終了し、以下のフォルダにあるデータを全て削除してください。  
【Windows】  
¥ユーザ¥パブリック¥ドキュメント¥Avid Media Composer¥AMA Management¥AMA Metadata Folders  
【Macintosh】  
¥ユーザ¥共有¥Avid Media Composer¥AMA Management¥AMA Metadata Folders